

(公財) 日本体操協会

平成26年度第2回評議員会議事録

1. 日 時 平成26年12月13日(土) 13時00分～13時50分

2. 場 所 岸記念体育会館 5F 特別会議室

3.出席者 <評議員>

出 席

小野 喬、大島斎礼、早田卓次、加藤澤男、滝澤康二、林 直樹、
柳善二郎、長澤稔子、福本 隆、森田弘文、三輪康廣、大橋英記、
藤田正敏、渡邊一郎、田中誠一、立藤三千洋、森玲子、竹谷 一、
関貫 勉、知念義雄 20名

欠 席

朝倉正昭、小篠弘子、寺田千代乃、三畑武一、山岸弘宜 5名

<理事・監事:役員候補者選考委員会メンバー>

出 席

二木英徳、塚原光男、小竹英雄、石崎朔子、渡辺守成、山本宜史
竹田幸夫氏 6名

4.資料の確認

資料 第1号議案 平成27・28年度役員選任について
第2号議案 その他

6.権限審査

定款第5章第24条に基づき本評議員会は評議員25名中、本日、出席評議員20名のため、評議員会開催の定足数(過半数)に達していることを渡邊事務局長報告。

7.議長選出

定款第4章第16条の定めにより、評議委員会議長は、評議員の中から選出すると定められており、会長推薦として瀧澤評議員が議長に選出された。

8.議事録署名人

定款第5章第26条に基づき、議長の瀧澤康二と、柳善二郎評議員及び森田弘文評議員の3名を指名し、異議なく承認された。

9.審議事項

第1号議案 平成27・28年度役員（理事・監事）選任について

（事務局より、当日詳細資料を各人に配布）

議長の指名により、渡辺専務理事は当日配布資料を説明した。

資料1：（公財）日本体操協会定款 抜粋

第4章 評議員（権限、開催、決議）第6章役員（配置、選任、任期・定年）
役員の定年に関する規定

まず、役員候補者選考手順として、役員選考に関する規定の確認として資料1の評議員の権限、開催、決議及び役員の配置、選任、任期、定年の項目の説明を行い、役員の定年に関する規定を説明した。

資料2：26.9.6..第2回理事会第1号議案役員候補者選考委員会の委員選任について

次に役員候補者選考委員会に関する決裁関連資料を説明、委員として二木英徳、瀧澤康二、塚原光男、小竹英雄、石崎朔子、渡辺守成、遠藤幸一、山本宜史、竹田幸夫の9氏の選考委員会で、3回の会議を開催し候補者を選考した。

資料3：平成27年度組織図（案）

次に候補者を選考するに当たり、適材適所に人材を配置するために組織図の見直しを実施し、「2020東京オリンピック対策本部」を新設した。この組織図に適材と思われる人材を配置した。

資料4：平成25-26年度役期員 平成27・28年度新役員（案）対照表

次に、新役員案の説明を行った。現職役員から定年規定にかかる方3人。

二木会長、小竹副会長、山田理事であり、二木会長は、特別の事情による任期延の対象とし、余人をもって代え難しということで、留任とした。

小竹副会長と山田理事は規程通り、ご勇退としたが、小竹副会長は理事は勇退するが地域委員長として2年間継続され、後進の育成に尽力して頂く。

トランポリン委員長の齋藤理事は、今期は、トランポリン委員会の実務に精通されており、日本体操協会統合の第1期であったため混乱を避けるため、その職を全うして頂いた。今後は業務内容が全国普及や指導者育成にポイントが移るため、適任者の選任を優先し、退任とした。

女子体操強化本部長の小林理事は、今年の世界選手権大会では、団体8位入賞を果たしたが、日本代表選手と所属とのコミュニケーション等に問題が多々発生しており、今回、止むを得ず、退任を決定した。

次に新任理事では、事業委員長の竹村英明氏を選任した。事業委員長として大会運営実績を挙げてきており、理事としてカムバックしてもらう。

米田 功理事はアスリート委員長で、いろいろ活躍して貰ったが、常務理事候補者として、アテネ世代の若い力で常務理事会の活性化を図っていく。

体操女子強化本部長の新任として、塚原千恵子氏を推薦する。同氏は北京・ロンドンオリンピックの強化本部長を歴任、オリンピック5位入賞実績がある。次世代の指導者の育成を含めて女子体操界の立て直しを職務とする強化本部長として推薦。

最後に名前が空欄となっている2名については、地域選出理事として、今後、地域委員会を中心に人選をして頂き、平成27年6月の定時評議員会にて選任決議をお願いしたい。

渡辺専務理事は以上の詳細説明を行った。

議長は質問・意見の有無を議場に諮った。

三輪、長澤、柳、大島評議員からご意見が出された。

- ・学閥の使い方が不適當。
- ・全日本団体選手権の観客動員に問題。見て楽しむ、一般ファンの拡大大切。
- ・リオ終了時の役員改選は原点に戻るべき。
- ・小竹氏の地域委員長今後、副会長職ではなくなる。何か処遇を考えるべき。

議長は以下、理事候補者を個別に、議場に諮った。

二木 英徳氏

異議なく、承認。

塚原 光男氏

異議なく、承認。

具志堅幸司氏
異議なく、承認された。

石崎朔子氏
異議なく、承認。

渡辺 守成
異議なく、承認。

遠藤幸一氏
異議なく、承認。

竹村英明氏（新任）
異議なく、承認、

張西芳枝
異議なく、承認、

竹内輝明氏
異議なく、承認。

水鳥寿思し
異議なく、承認。

塚原千恵子氏（新任）
異議なく、承認。

山崎浩子氏
異議なく、承認。

山本宜史氏
異議なく、承認。

米田 功氏
異議なく、承認。

荒木達雄氏
異議なく、承認。

福井卓也（新任）
異議なく、承認。

加納 実氏
異議なく、承認。

長谷川清氏
異議なく承認。

議長は監事候補者を議場に諮った。

監物永三氏
異議なく、承認。

竹田幸夫氏
異議なく、承認。

議長は以上の通り、第 1 号議案は原案通り承認された。

第 2 号議案 その他

特になし。

10.閉会

議長は、すべての議案の終了を確認し、13 時 50 分閉会を宣した。

平成 26 年 12 月 13 日

議事録署名人 瀧澤 康二

議事録署名人 柳 善二郎

議事録署名人 森田 弘文